

西国巡礼慈悲の道

西国第三番

風猛山

粉河寺

命を大切に

貫主 逸木盛修

ここ十年位前から毎年三万人以上の人が自らの生命を絶つという自殺大国になったことが、警察庁のまとめでわかりました。その原因の真実は知るよしもありません。従って、軽々にあれこれ言うのはお門違いかと思いますが、想像を逞しくして考えてみますと、少なくとも次のようなことが言えるのではないでしょうか。

この世に生を受けたから

には幸せになりたい。そう願わない人はいないと思います。近年人々の幸福感の尺度が変わってきて、物質的豊かさが満たされつつあっても、同時に精神的豊かさ―「生れてきてよかったな」、「幸せに生きているなあ」―という実感を求めるようになりました。

しかしながら、二五〇〇年もの昔、仏教の開祖お釈迦さまは、人間世界は苦しみに満ちている。生きてゆ

くこと自体が苦しみであり欲しいものが得られないことも苦しみであると説かれています。

（欲）にならないよう常に腹八分目をモットーに、あの世からお呼びがあるまで、命を大切にしたいと願う次第であります。

これらの苦しみは、人間が生れながらに持っている限りない欲望から、換言すれば人生万事思いどおりにならないことから起り、ともすれば、死さえも願うことになりかねませんが、必ずしも生れ育った環境や境遇によるものではありません。一人ひとりが、身の程を適切にわきまえて、欲望を出来るだけ小さくすることが出来るかに掛かっているといえるのではないのでしょうか。

万物の霊長といわれる人間として生れてきたのだから、欲望の食べ過ぎ（貪



西国第二番

風猛山

粉河寺

こかわでら

粉河観音宗総本山

御本尊／千手千眼観世音菩薩 開基／大伴孔子古

ちちははの 恵みも深き 粉河寺

仏のちかひ たのもしの身や

観音風光

毎月十八日は観音さまのご縁日で、午後一時半より観音月並法要が行われます。本堂でお勤めのあと、法話を予定しています（ただし、八月は十五日に、また十二月の会場は「童男堂」に変更されます）。

国宝「粉河寺縁起絵巻」の由来により、病氣平癒がかなう観音さまとして知られています。

ご祈祷受付は午前八時～午後五時です。

主な年中行事

一月一日～十四日 初詣

（開運だるま・破魔矢・厄除祈祷札授与）

一月十四日 とんど焼（午後二時点火）

二月三日 節分会（福豆授与・厄除祈祷終日受付）

三月三日 流し雛

（午後一時祈願祭後、紀の川にて雛を流す）

旧暦初午の日 初午会（探灯大護摩供 午後二時半点火）

八月九日 施餓鬼会

（午前四時～午後十時 新仏・水子等の供養）

十月第四土曜日 曼荼羅供会

（午後一時半 各家先祖の永代供養）

十二月十八日 童男会

（本尊千手観音の化身・童男行者秘仏）の年一回のご開帳

〒649-6531 和歌山県紀の川市粉河2787

TEL 0736-73-4830・73-3255/FAX 73-2007

納経時間 午前8時～午後5時

仏教用語一口解説

明王とは

仏教に未だ帰依しない民衆を帰依させようとする役割を担った仏で、『不動明王』などがそうです。明王は一般的に忿怒の相で火炎を背負い髪は怒りによって逆立ち、武器類を手に持った姿で表現されることが特徴。この忿怒の相は単なる怒りを表現したものではなく、「仏教に帰依しない民衆を畏怖させてでも教えに帰依せんとする気迫」「仏界を脅かす煩惱や、教えを踏みにじる悪に対する護法の怒り」を表しているとされています。